



IR Microphone System ATIR-1000 Series



最大10チャンネルの同時使用が可能 さらなる進化を遂げた赤外線マイクロホンシステム

1998年に赤外線マイクロホンシステムの製造・販売をはじめてから、これまで数多くの教育施設や企業などに導入いただけてきました。常にお客様の声を聞きながら研鑽を重ね、2010年には業界初の同時8チャンネル運用モデルを投入しました。「ATIR-1000 シリーズ」は、さらなる進化を遂げ、同時10チャンネル運用を実現し、安定性や秘匿性、シンプル操作などのコンセプトを継承しつつ、使用時間や使用可能範囲の拡大など、さらなる利便性を実現しました。環境の変化に左右されない柔軟なシステムとして、さまざまなお客様のニーズにお応えします。



赤外線マイクロホンシステムとは？

赤外線マイクロホンシステムは、電磁波の一種である赤外線（IR）を音声伝送に利用するレシーバー、トランスミッター、受光ユニットなどで構成されています。赤外線は目に見えない光であり、壁などを透過しない特性があるため、隣接する部屋が多い大学などの施設でも、混信を気にせず導入できます。また、赤外線は情報漏えいのリスクがなく、セキュリティ面に優れていることから、官公庁や公共施設をはじめ、企業の会議室や役員会議室などにも適しています。



簡単

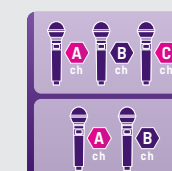
■ 簡単設定

チャンネルやボリュームは本体のつまみで直感的に設定可能。PCでの細かい設定は必要ありません。万一、不具合が発生した場合にもリカバリーが行いやすいのも特長です。



■ チャンネルプランの検討は不要

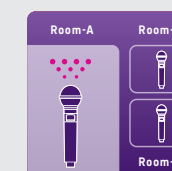
10チャンネルから任意のチャンネルを選択するだけで設定が完了します。各部屋単位でチャンネル設定ができるため、複雑なチャンネルプランは必要ありません。



安心

■ 混信・干渉しない

壁などの障害物を透過しない赤外線方式を採用しているため、他の部屋で使用しているマイクとの混信の心配はありません。また、ワイヤレスマイク（800MHz、2.4GHz、1.9GHz帯など）と干渉することなく使用できます。



■ 秘匿性に優れている

赤外線方式は、混信・干渉しないだけでなく、情報漏えいのリスクがないため、セキュリティ面に優れていることもポイントです。秘匿性が高い情報を扱う企業の会議室や役員会議室などでも安心して使用できます。



ATIR-1000 シリーズの新機能

最大同時使用可能数を10チャンネルに拡大
従来モデル「ATIR-800 シリーズ」との互換性も確保

赤外線マイクロホンシステムでは最大となる、同時使用可能数10チャンネルを実現。また、従来モデル「ATIR-800 シリーズ」との互換性も確保しています。既に赤外線マイクロホンシステムが導入されている部屋でも、追加、見直しによるシステム改善を行うことができます。



レシーバーとトランスミッターの互換性

◎ 推奨の組み合わせです。 ○ 互換性があります。

トランスミッター レシーバー		ATIR-1000 シリーズ		ATIR-800 シリーズ		
		ATIR-T1001	ATIR-T1002	ATIR-T880	ATIR-T850	ATIR-T860
ATIR-1000 シリーズ	ATIR-R1040	◎	◎	○	○	○
	ATIR-R1020	◎	◎	○	○	○
ATIR-800 シリーズ	ATIR-R840	○	○	◎	◎	◎
	ATIR-R820	○	○	◎	◎	◎

レシーバーと受光ユニットの互換性

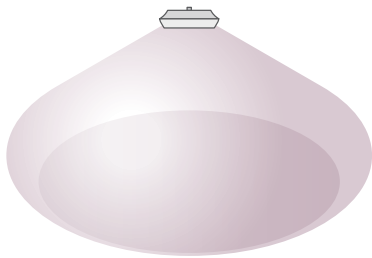
受光ユニット レシーバー		ATIR-1000 シリーズ	ATIR-800 シリーズ	
		ATIR-A510	ATIR-A400	ATIR-A410
ATIR-1000 シリーズ	ATIR-R1040	◎	◎	○
	ATIR-R1020	◎	◎	○
ATIR-800 シリーズ	ATIR-R840	◎	◎	○
	ATIR-R820	◎	◎	○

広域受光ユニット

広域受光ユニット（無指向性）『ATIR-A510』により、カバーエリアが大幅に拡大。階段教室の黒板周りなど、高い天井の部屋にも効果を発揮します。また、使用する受光ユニット数が減るため、設置工数やコストの削減にもつながります。

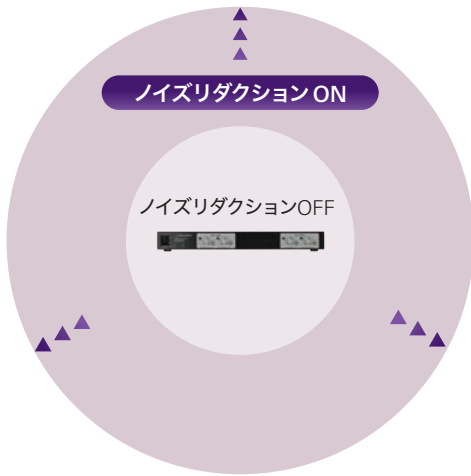


広域受光ユニット ATIR-A510



ノイズリダクション機能

レシーバーに搭載されたノイズリダクション機能により、弱電界時に発生するノイズを低減し、使用可能範囲の拡大を実現しました。従来モデル「ATIR-800 シリーズ」との互換性もあるため、お使いのレシーバーを「ATIR-1000 シリーズ」に変更することで、ノイズリダクションによる使用可能範囲の改善が期待できます。

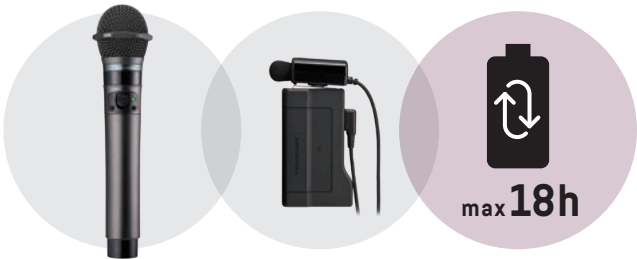


長時間運用 / 急速充電

トランスミッターにはリチウムイオン電池を採用し、長時間の運用が可能。また、急速充電にも対応し、15分の充電で約90分*使用できます。

連続使用時間*	
ECOモード	約18時間
LOモード	約14時間
HIモード	約8.5時間

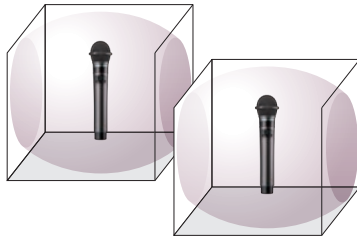
*使用条件により異なります。



ATIR-1000 シリーズの特長

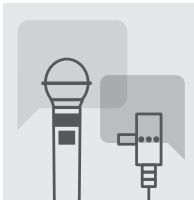
■ 高い秘匿性

搬送波が壁などの障害物を透過しないため、情報漏えいのリスクはありません。その高い秘匿性により、企業の会議室や役員会議室、研究所や開発拠点など数多くの場所で採用されています。また、オフィス街や近隣にある施設で導入されているワイヤレスマイク（800MHz、2.4GHz、1.9GHz帯など）との干渉もなく、安心して使用できます。



■ 聞き取りやすい音質

ハンドヘルドトランスミッターとボディパケットトランスミッターは、いずれもスピーチに特化した中高域を重視したコンデンサーユニットを採用し、明瞭度の高い音声を提供します。ボディパケットトランスミッターは改良を重ね、ノイズやハウリングへの耐性をさらに強化し、より聞き取りやすい音質を実現しました。



Speech Quality

■ 天井設置時のデザイン性を配慮

格調の高い会議室やセミナールームなど、白基調の天井面にマッチするホワイトメタリックカラーを採用。受光ユニットは、無指向性と単一指向性の2つをラインナップしました。



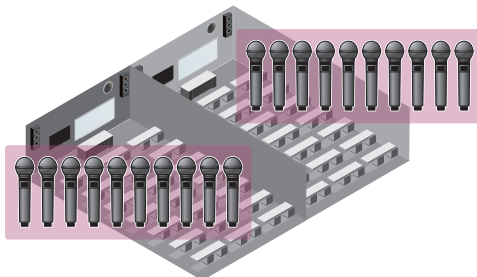
広域受光ユニット（無指向性）
ATIR-A510



受光ユニット（単一指向性）
ATIR-A400

■ 最大10チャンネルの同時運用可能

上下階や左右に隣り合った部屋でも、チャンネルプランや設定を気にせず、部屋毎に最大10チャンネルのマイクが使用できます。間仕切りした分割運用の多い貸会議室などにおいても、パーティションで区切ることで混信を回避できるため、フレキシブルなシステム運用が可能です。



■ 簡単操作で急なトラブルにも対応

ハンドヘルドトランスミッターとボディパケットトランスミッターは、本体内部のスイッチで簡単にチャンネル変更ができます。そのため、万トランスミッターに不具合が生じて、予備または隣接する部屋に設置された同じトランスミッターのチャンネルを一時的に切り替えての運用が可能です。また、レシーバーも本体前面のスイッチでチャンネルの変更ができるため難しい設定は必要ありません。



レシーバー

■ 充電レベルやマイクの運用状況を把握

充電器は、各ポートの充電状態を4パターン（マイク未挿入、充電中、充電67%完了、充電完了）から判別可能。部屋単位でのマイクの運用や、充電状況を集中管理するシステムも構築できます。さらに、レシーバーからも赤外線受信状態のタリー出力を行えるため、マイクの運用状況が把握できるだけでなく、マイクの電源スイッチで講義システムを起動させるといったトリガーとしても活用可能です。



2chレシーバー
ATIR-R1020

■ 受光ユニットを最適に配置

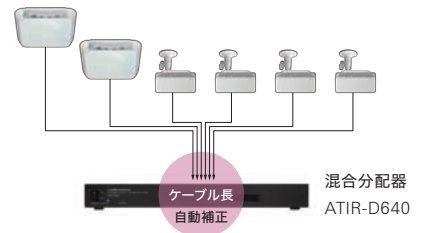
受光ユニットデザインアプリケーション「IR Antenna Designer」を使えば、部屋の大きさ、高さ、分割の有無、レイアウトを入力するだけで、最適な受光ユニットの設置位置と必要数を確認できます。



IR Antenna Designer

■ ケーブル長を自動で補正

混合分配器『ATIR-D640』には、接続する受光ユニットとのケーブル差異によって生じる遅延時間を自動で補正する「ケーブル長補正機能」を搭載しています（最大100mまで対応可能）。ケーブルの長さに違いがあっても適切な状態で出力分配できるため、施工時間を短縮でき、コストダウンにもつながります。



■ ヘッドウォーンマイクロホンも用意

ボディパケットトランスミッターは、付属のラベリアマイクロホンと別売のヘッドウォーンマイクロホンに変更可能。プレゼンテーションやパネルディスカッションなどで使用する際に、お好みでアレンジできます。



ATM75IR（特型）



BP892xIR-BK（特型）



BP892xIR-TH（特型）

文教（小・中講義室）

カバーエリアが拡大した無指向性の広域受光ユニット『ATIR-A510』を活用することで、シンプルなシステム構築が可能です。特に、教育機関の30～200人規模の講義室や、天井の高い階段教室での運用に適しています。講師の講義スタイルに応じて、ハンドヘルドマイクロホンまたはラベリアマイクロホンを選択できます。さらに、急速充電に対応し、15分の充電で授業1コマ分（90分）の使用が可能です。



企業（会議室・役員会議室）

搬送波は壁などの障害物を透過しないため、情報漏えいのリスクがなく、秘匿性の高い情報を扱う企業の会議室や役員会議室でも安心して使用できます。受光ユニットには、格調高い会議室に馴染みやすいホワイトメタリックカラーを採用。さらに、机に直接設置できるパウンダリーマイクロホンを組み合わせることで、スマートな収音も可能です。



大空間（セミナールーム・多目的室）

広域受光ユニット『ATIR-A510』とノイズリダクション機能により、セミナールームや多目的室などの広いスペースでも安定した運用が可能です。最大10チャンネルの同時使用に対応しており、多数の参加者からの質問にも柔軟に対応できます。また、トランスミッターにはリチウムイオン電池を採用しており、長時間の運用が可能のため、終日行われるセミナーでも充電なしで使用できます。



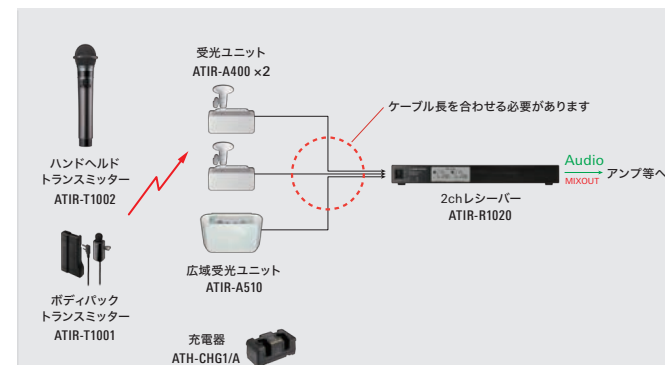
間仕切り分割運用（貸し会議室）

搬送波は壁などの障害物を透過しないため、パーティションで仕切られた貸し会議室などでも、隣接する部屋との混信の心配がありません。また、部屋の規模やマイクロホンの本数に応じて、柔軟なシステム運用が可能です。

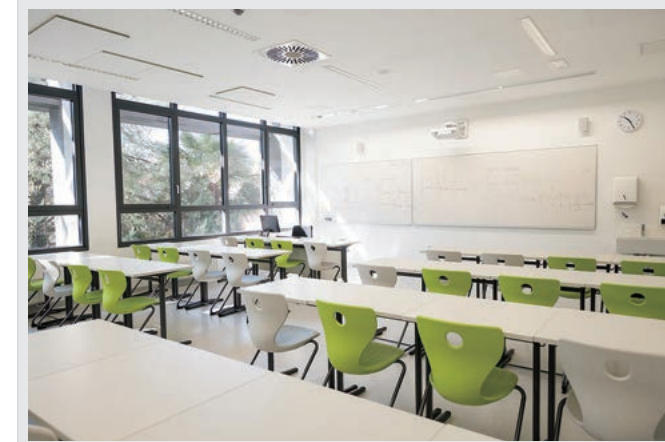
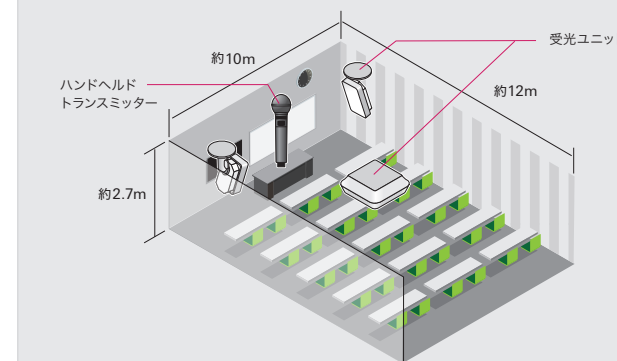


文教向けシステムのご提案

小・中講義室



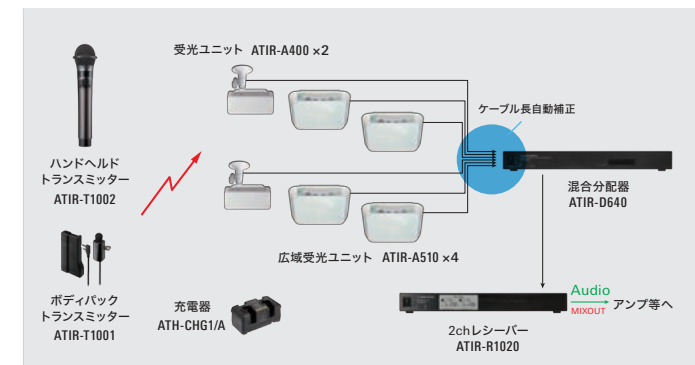
品名	品番	数量
2chレシーバー	ATIR-R1020	1
ハンドヘルドトランスミッター	ATIR-T1002	1
ボディパケットランスミッター	ATIR-T1001	1
受光ユニット（単一指向性）	ATIR-A400	2
広域受光ユニット（無指向性）	ATIR-A510	1
充電器	ATIR-CHG1/A	1



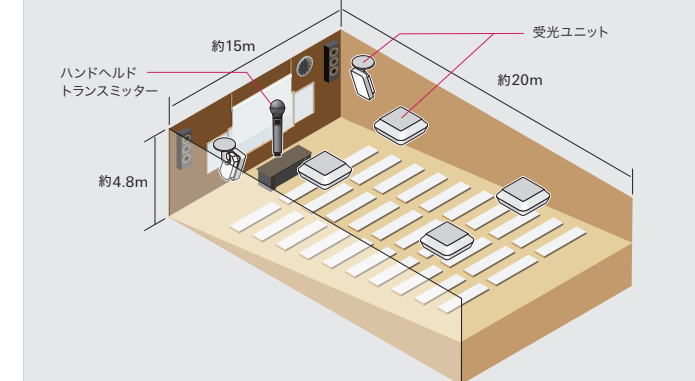
《設計時のポイント》

- ・白熱灯やハロゲン灯を用いた無数の照明やプラズマディスプレイなどの設備がないか、ご確認ください。
- ・混合分配器を用いる系統では、受光ユニット～混合分配器間の同軸ケーブルの長さを揃える必要はありません。
- ・混合分配器を用いない系統では、受光ユニット～レシーバー間の同軸ケーブルは同じ長さに揃えてください。
- ・赤外線を受光を妨げる柱や天井梁、天井吊式の補助用大型ディスプレイなどがある場合は、受光ユニットの数量や取付位置の詳細検討が必要です。
- ・講師が白板または黒板に面した場合でも、赤外線を受光できるように両サイドに受光ユニットを設置してください。
- ・隣接した講義室の間が透明ガラスの場合は、赤外線が透過する可能性があります。その場合は、同じチャンネルが使用できない場合があります。

上記のアンテナレイアウト及びシステムプランは一例です。

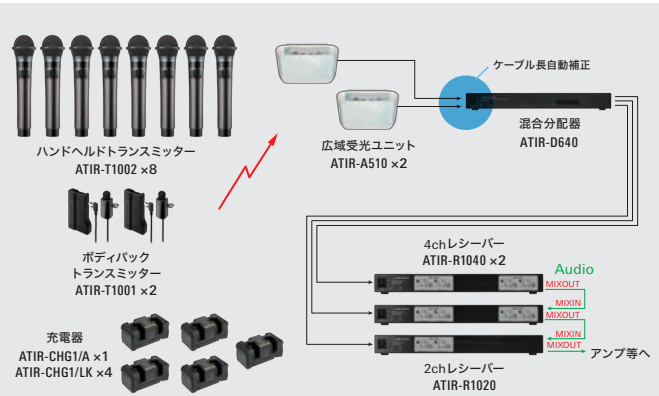


品名	品番	数量
2chレシーバー	ATIR-R1020	1
混合分配器	ATIR-D640	1
ハンドヘルドトランスミッター	ATIR-T1002	1
ボディパケットランスミッター	ATIR-T1001	1
受光ユニット（単一指向性）	ATIR-A400	2
広域受光ユニット（無指向性）	ATIR-A510	4
充電器	ATIR-CHG1/A	1

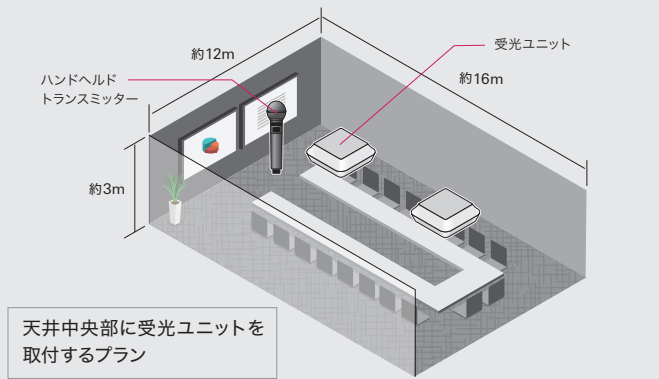


企業向けシステムのご提案

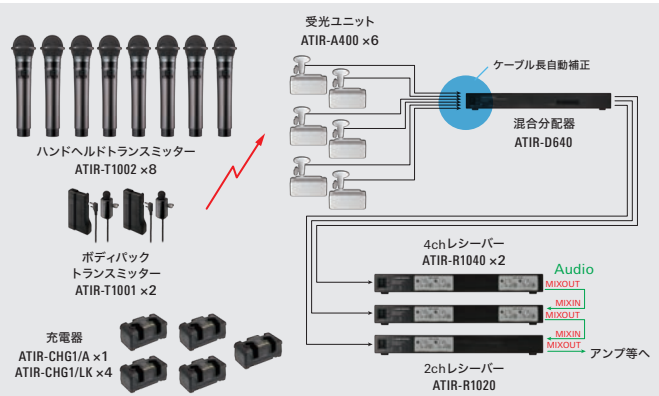
会議室・役員会議室



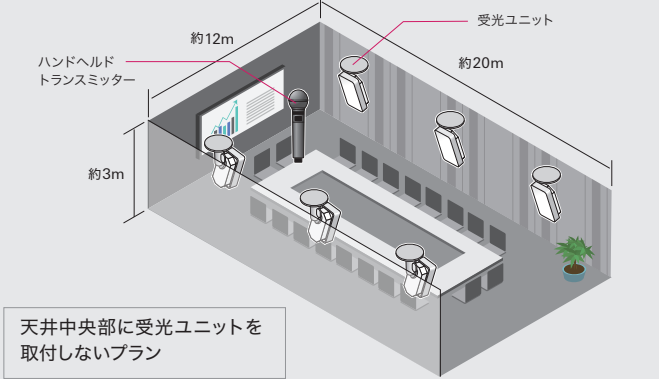
品名	品番	数量
4chレシーバー	ATIR-R1040	2
2chレシーバー	ATIR-R1020	1
混合分配器	ATIR-D640	1
ハンドヘルドトランスミッター	ATIR-T1002	8
ボディバックトランスミッター	ATIR-T1001	2
広域受光ユニット（無指向性）	ATIR-A510	2
充電器	ATIR-CHG1/A	1
充電器	ATIR-CHG1/LK	4



- 《設計時のポイント》
- ・周りに赤外線を用いた同時通訳システムやプラズマディスプレイなどの設備がないかご確認ください。
 - ・大きな窓がある場合は赤外線の反射が見込まれない可能性があります。その場合は、受光ユニットの数量や取付位置の再検討が必要です。
 - ・会議室と廊下との間が透明ガラスの場合は、赤外線が透過する可能性があります。その場合は、隣接した会議室との使用設定が必要です。
 - ・プロジェクターの昇降設備がある場合は、赤外線マイクロホンと受光ユニットとの通信を妨げないように受光ユニットを配置してください。また、受光ユニットにプロジェクターの光が直接当たらないようご注意ください。

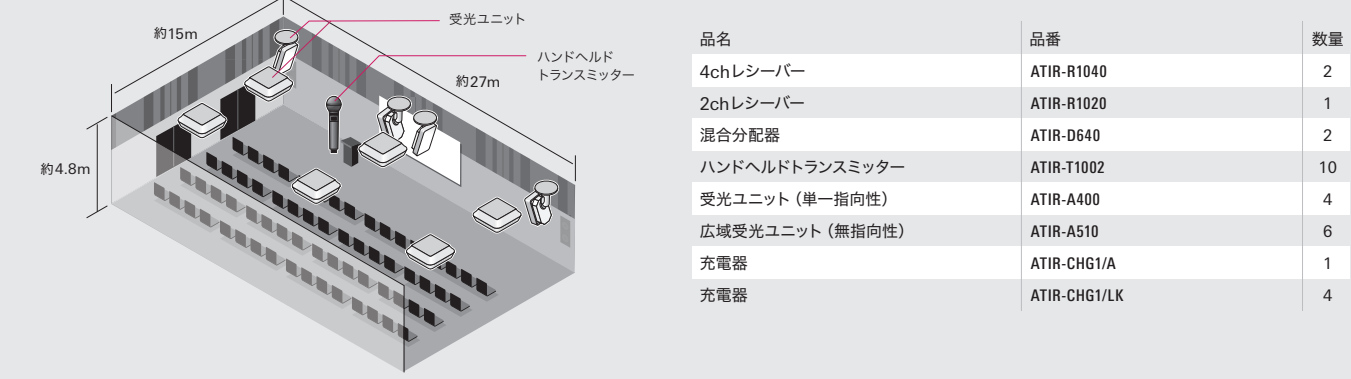
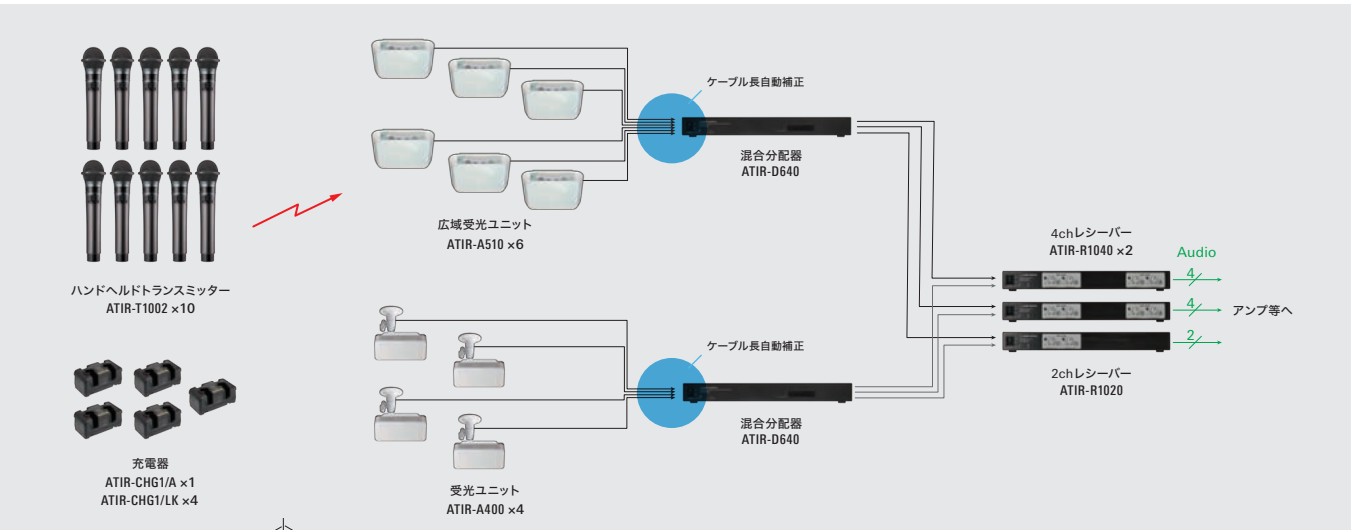


品名	品番	数量
4chレシーバー	ATIR-R1040	2
2chレシーバー	ATIR-R1020	1
混合分配器	ATIR-D640	1
ハンドヘルドトランスミッター	ATIR-T1002	8
ボディバックトランスミッター	ATIR-T1001	2
受光ユニット（単一指向性）	ATIR-A400	6
充電器	ATIR-CHG1/A	1
充電器	ATIR-CHG1/LK	4



大空間向けシステムのご提案

セミナールーム・多目的室



品名	品番	数量
4chレシーバー	ATIR-R1040	2
2chレシーバー	ATIR-R1020	1
混合分配器	ATIR-D640	2
ハンドヘルドトランスミッター	ATIR-T1002	10
受光ユニット（単一指向性）	ATIR-A400	4
広域受光ユニット（無指向性）	ATIR-A510	6
充電器	ATIR-CHG1/A	1
充電器	ATIR-CHG1/LK	4

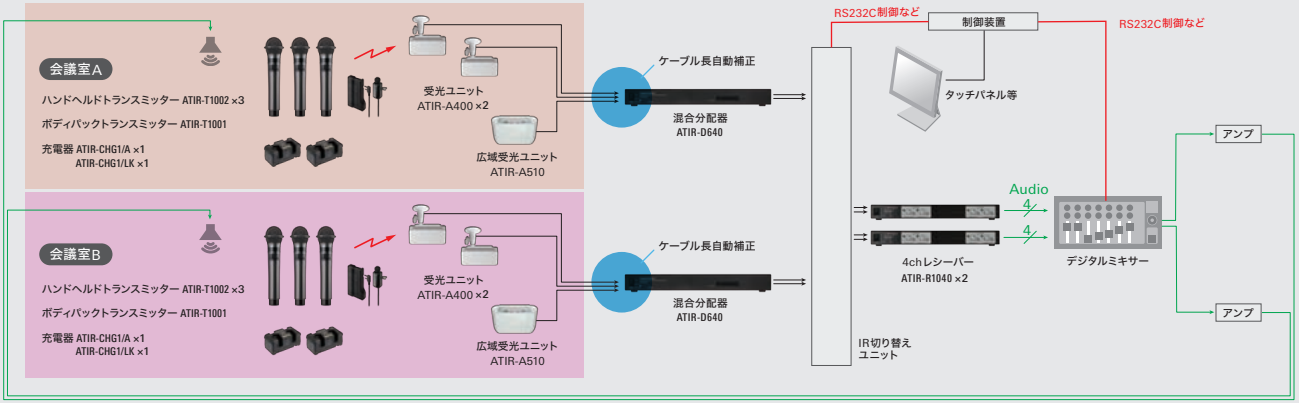


- 《設計時のポイント》
- ・混合分配器を複数用いる場合は各混合分配器～レシーバー間の同軸ケーブル長は同じ長さに揃えてください。
 - ・赤外線の受光を妨げる吊りボタンや照明器具、昇降装置などがある場合は受光ユニットの数量や取付位置の再検討が必要です。

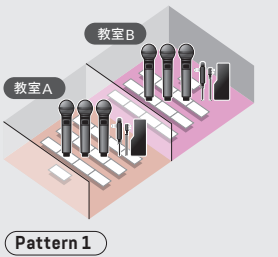
間仕切り分割運用向けシステムのご提案

貸し会議室

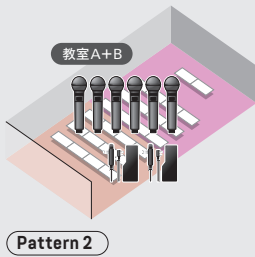
2分割運用タイプ



■可動式パーテーションで間仕切られた2つの空間でトランスミッター 8本を運用



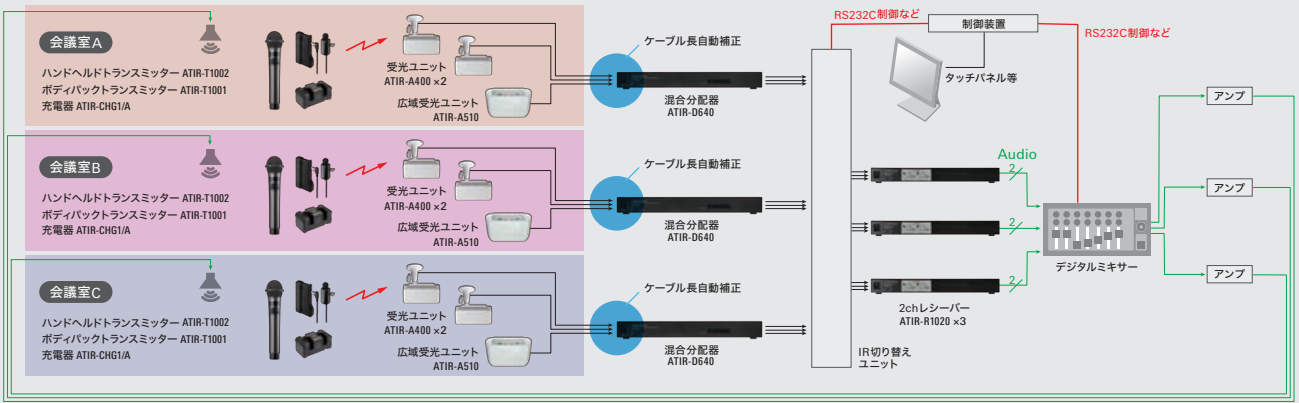
2つの教室に【分割】
それぞれの教室に各4本のトランスミッターを運用



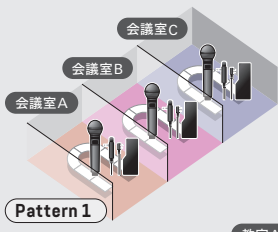
パーテーションを全て外して【全体】
間仕切りのない大きめの教室で8本のトランスミッターを運用

品名	品番	数量
4chレシーバー	ATIR-R1040	2
混合分配器	ATIR-D640	2
ハンドヘルドトランスミッター	ATIR-T1002	6
ボディパケットランスミッター	ATIR-T1001	2
受光ユニット (単一指向性)	ATIR-A400	4
広域受光ユニット (無指向性)	ATIR-A510	2
充電器	ATIR-CHG1/A	2
充電器	ATIR-CHG1/LK	2

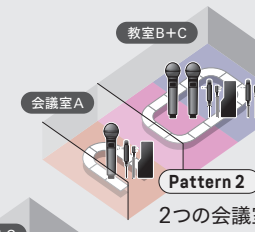
3分割運用タイプ



■可動式パーテーションで間仕切られた3つの空間でトランスミッター 6本を運用



3つの会議室に【分割】
それぞれの会議室に各2本のトランスミッターを運用



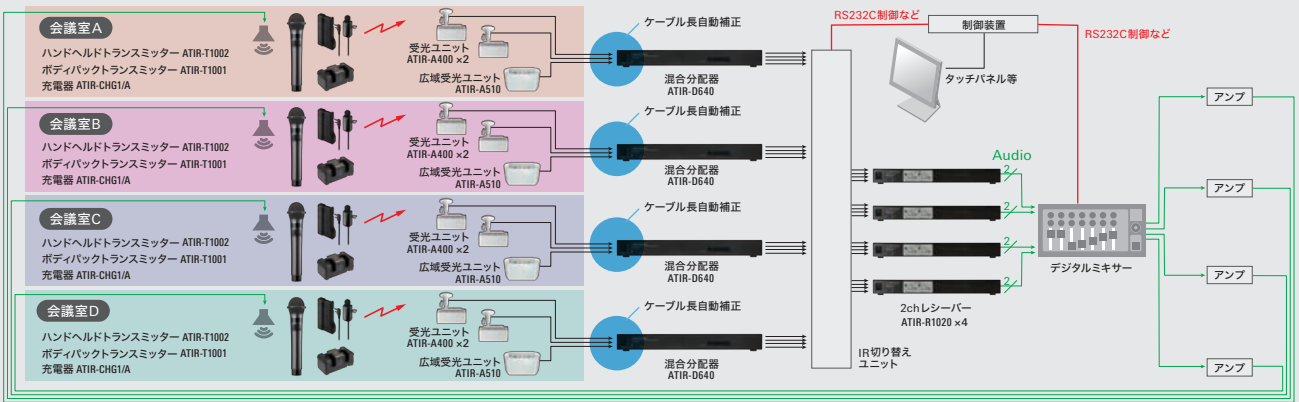
2つの会議室に【分割】
会議室Aに2本、会議室B+Cに4本のトランスミッターを運用



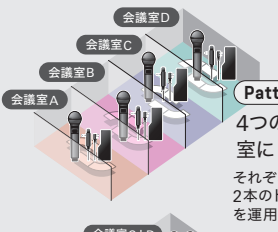
パーテーションを全て外して【全体】
間仕切りのない大きめの会議室で6本のトランスミッターを運用

品名	品番	数量
2chレシーバー	ATIR-R1020	3
混合分配器	ATIR-D640	3
ハンドヘルドトランスミッター	ATIR-T1002	3
ボディパケットランスミッター	ATIR-T1001	3
受光ユニット (単一指向性)	ATIR-A400	6
広域受光ユニット (無指向性)	ATIR-A510	3
充電器	ATIR-CHG1/A	3

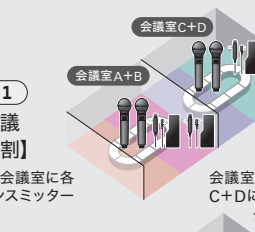
4分割運用タイプ



■可動式パーテーションで間仕切られた4つの空間でトランスミッター 8本を運用



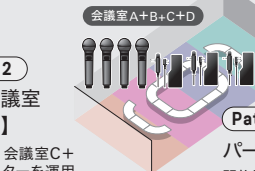
4つの会議室に【分割】
それぞれの会議室に各2本のトランスミッターを運用



2つの会議室に【分割】
会議室A+Bに4本、会議室C+Dに4本のトランスミッターを運用



3つの会議室に【分割】
会議室AとBに各2本、会議室C+Dに4本のトランスミッターを運用



パーテーションを全て外して【全体】
間仕切りのない大きめの会議室で8本のトランスミッターを運用

品名	品番	数量
2chレシーバー	ATIR-R1020	4
混合分配器	ATIR-D640	4
ハンドヘルドトランスミッター	ATIR-T1002	4
ボディパケットランスミッター	ATIR-T1001	4
受光ユニット (単一指向性)	ATIR-A400	8
広域受光ユニット (無指向性)	ATIR-A510	4
充電器	ATIR-CHG1/A	4

《設計時のポイント》

- ・混合分配器を複数用いる場合は混合分配器～赤外線レシーバー間のケーブルは全て同じ長さに揃えてください。
- ・設置パターンに応じて、使用する各部屋の受光ユニットをワンタッチで切り替えられる特型ユニットが必要になります。
- ・分割運用時には互いの部屋がパーテーション等で区切られている必要があります。



Product Information

IR Microphone System ATIR-1000 Series

製品情報

4chレシーバー

ATIR-R1040

オープン価格

2chレシーバー

ATIR-R1020

オープン価格

2chモデルと4chモデルをラインナップ。

6つの受光ユニット入力端子を搭載。

フロントパネルでボリューム調整、チャンネルの設定・変更が可能。

ノイズリダクション機能により弱電界時に発生するノイズを低減し、使用可能範囲を大幅に拡大。

ATIR-R1040



ATIR-R1020



通信方式	赤外線	消費電力	10W
周波数範囲	1～4MHz	電源	AC100V、50/60Hz
受信方式	ダイレクトコンバージョン方式	受光器入力	BNCコネクタ（75Ω）×6
周波数特性	140～13,000Hz（ATIR-T1001使用時） 140～15,000Hz（ATIR-T1002使用時）	受光器電源供給	DC12V 50mA（1端子当たり）
受信周波数	Ach（3.04MHz）、Bch（3.48MHz）、Cch（3.70MHz）、Dch（3.84MHz）、Ech（2.06MHz） Fch（2.48MHz）、Gch（2.70MHz）、Hch（2.82MHz）、Kch（2.16MHz）、Sch（3.29MHz）	その他機能	ノイズリダクション機能（ON/OFF可）
受信チャンネル数	ATIR-R1040：4チャンネル ATIR-R1020：2チャンネル	動作温度範囲	0℃～40℃
ダイナミックレンジ	80dB以上（A-weighted ATIR-T1001/ATIR-T1002使用時）	外形寸法	419.4mm×209.8mm×49.1mm（W×D×H）
全高調波歪み率	0.1%以下（ATIR-T1002使用 1kHz 基準入力時）	質量	約2.4kg
アナログ入力	MIXIN 最大：+18dBu（+16dBV）	付属品	ATIR-R1040：電源ケーブル、3P-2P電源プラグ、CHシール、ユーロブロックコネクタ（3ピン）×4、ユーロブロックコネクタ（5ピン）、ラックマウントアダプター（短）×2、ラックマウントアダプター用取り付けねじ×6
アナログ出力	UNBAL最大：+17dBu（+15dBV） UNBALユニティ：-6dBu（-8dBV） BAL/LINE最大：+17dBu（+15dBV） BAL/LINEユニティ：+6dBu（+4dBV） BAL/MIC最大：-21dBu（-23dBV） BAL/MICユニティ：-33dBu（-35dBV）		ATIR-R1020：電源ケーブル、3P-2P電源プラグ、CHシール、ユーロブロックコネクタ（3ピン）×3、ラックマウントアダプター（短）×2、ラックマウントアダプター用取り付けねじ×6

ハンドヘルドトランスミッター

ATIR-T1002

オープン価格

声の聞き取りやすさに特化したレスポンスの良いクリアな音質。

発光部の改善により、さらなる安定運用を実現。

初期設定(LOモード) 時で約14時間、HIモードで約8.5時間、ECOモードで約18時間の連続使用が可能*。

*使用条件により異なります



付属品：IRガード

通信方式	赤外線	指向特性	単一指向性
周波数範囲	1～4MHz	赤外線波長	860±30nm
型式	バックエレクトレットコンデンサー型	発振方式	PLLシンセサイザー方式
周波数特性	140～15,000Hz（ATIR-R1020/ATIR-R1040使用時）		
ダイナミックレンジ	80dB以上（A-weighted ATIR-R1020/ATIR-R1040使用時）		
変調方式	周波数変調		
搬送波周波数	Ach（3.04MHz）、Bch（3.48MHz）、Cch（3.70MHz）、Dch（3.84MHz）、Ech（2.06MHz） Fch（2.48MHz）、Gch（2.70MHz）、Hch（2.82MHz）、Kch（2.16MHz）、Sch（3.29MHz）		
送信チャンネル	1チャンネル		
電源	Li-2835 専用リチウムイオン電池（本体に取り付け済み）		
連続使用時間*	約18時間（ECOモード時）約14時間（LOモード時）約8.5時間（HIモード時）		
動作温度範囲	0℃～40℃		
外形寸法	232.9mm×φ55.4mm		
質量（電池含む）	約254g		
付属品	CHシール、ミニドライバー、IRガード		
別売	マイクホルダー（AT8426）		

*使用条件により異なります。

ボディバクトランスミッター

ATIR-T1001

オープン価格

ラベリアマイクrohンはハウリングへの耐性をさらに強化。

発光部の改善により、さらなる安定運用を実現。

初期設定(LOモード) 時で約14時間、HIモードで約8.5時間、ECOモードで約18時間の連続使用が可能*。

*使用条件により異なります



通信方式	赤外線	指向特性	単一指向性
周波数範囲	1～4MHz	赤外線波長	860±30nm
型式	バックエレクトレットコンデンサー型	発振方式	PLLシンセサイザー方式
周波数特性	140～13,000Hz（ATIR-R1020/ATIR-R1040使用時）		
ダイナミックレンジ	80dB以上（A-weighted ATIR-R1020/ATIR-R1040使用時）		
変調方式	周波数変調		
搬送波周波数	Ach（3.04MHz）、Bch（3.48MHz）、Cch（3.70MHz）、Dch（3.84MHz）、Ech（2.06MHz） Fch（2.48MHz）、Gch（2.70MHz）、Hch（2.82MHz）、Kch（2.16MHz）、Sch（3.29MHz）		
送信チャンネル	1チャンネル		
入力ゲイン調整範囲	-15dB～+5dB（VOLセンター0dB）		
電源	Li-2835 専用リチウムイオン電池（本体に取り付け済み）		
連続使用時間*	約18時間（ECOモード時）約14時間（LOモード時）約8.5時間（HIモード時）		
動作温度範囲	0℃～40℃		
外形寸法（ベルトクリップ除く）	64.8mm×22.4mm×107mm（W×D×H）		
質量（電池含む）	約113g		
付属品	CHシール、ミニドライバー		
■マイクrohン ATIR-M1001			
外形寸法	27mm×23mm×72.8mm（W×D×H）（タイピンクリップ除く）		
ケーブル長	1.0m		
接続端子	φ3.5mmステレオミニプラグ+φ2.5mmモノラル超ミニL型プラグ		
外部入力端子	φ3.5mmミニプラグ（入力自動切替機能付き）		
質量	約44g（タイピンクリップ含む）		

*使用条件により異なります。

IR Microphone System ATIR-1000 Series

製品情報

広域受光ユニット（無指向性）

ATIR-A510

オープン価格

- カバーエリア拡大により、使用する受光ユニット数・設置工数を削減。
- 階段教室の黒板周りなど、高い天井の部屋にも効果を発揮。
- レシーバーのノイズリダクション機能と併用し、使用可能範囲の拡大と安定運用を実現。



裏面



付属品：マウントブラケット

通信方式	赤外線	電源インジケーター色	緑
周波数範囲	1～4MHz	動作温度範囲	0℃～40℃
指向特性	無指向性	外形寸法	130mm×130mm×35mm（W×D×H）
接続端子	BNCコネクタ（75Ω）	質量	約246g
消費電流	23mA	仕上げ処理	トップパネル：ホワイトメタリックカラー 筐体：ホワイトマットテクスチャー
動作電圧	DC12V	付属品	マウントブラケット、木ねじ×2

受光ユニット（単一指向性）

ATIR-A400

希望小売価格 ¥30,800. (税抜 ¥28,000)

高い天井設置時に受光角度調整を柔軟に行なえるように、同系色のIRフィクサーを標準で付属。

目立ちにくいホワイトメタリックカラー採用。



裏面



付属品：IRフィクサー

指向特性	単一指向性	質量	約85g
接続端子	BNCコネクタ	付属品	IRフィクサー、アンカー×3、木ネジ×3
外形寸法	H31×W40×D82mm		

充電器

ATIR-CHG1/A

オープン価格

充電器(連結用)

ATIR-CHG1/LK

オープン価格

最大5台までの連結充電が可能。（ATIR-CHG1/A×1、ATIR-CHG1/LK×4）

ACアダプター1つで最大10本までのトランスミッターが充電可能。

充電開始を音で知らせるアラート機能を搭載。

充電状態を3つのインジケーターで表示。

15分充電で90分*使用可能な急速充電に対応。 *使用条件により異なります

情報出力のGPO制御により、充電状態の情報管理が可能。

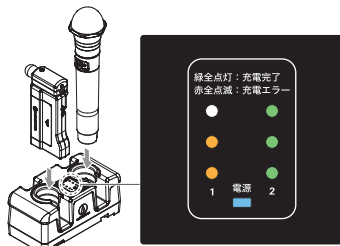
ATIR-CHG1/LKには、リンク接続に必要な付属品を同梱。（リンクケーブル、リンクプレート、リンクプレート用ねじ×4、状態出力ハーネス）



使用イメージ



リンクプレート取付イメージ



充電状態を3つのインジケーターで表示

充電方式	CC-CV充電	充電インジケーター点灯パターン	トランスミッター未挿入：消灯 34%未満：1個点灯（赤）
電源	DC12V 3.0A		67%以上：3個点灯（赤） 充電エラー：全点滅（赤）
充電出力	トランスミッター1～4個充電時：DC4.1V 1408mA トランスミッター5～6個充電時：DC4.1V 960mA トランスミッター7～8個充電時：DC4.1V 704mA トランスミッター9～10個充電時：DC4.1V 576mA	動作温度範囲	5℃～40℃
		外形寸法	162.8mm×84.3mm×76mm（W×D×H）
		質量	約399g
消費電力	トランスミッター2個充電時：17.5W 5台連結してトランスミッター10個充電時：35W	仕上げ処理	黒色 梨地仕上げ
充電時間	トランスミッター1～4個充電時：約3.5時間 トランスミッター5～6個充電時：約4.5時間 （使用条件により異なります） トランスミッター7～8個充電時：約5時間 トランスミッター9～10個充電時：約6時間	状態出力端子	JST製 B8B-ZR
		付属品（ATIR-CHG1/A）	ACアダプター（AD-SA1230XA）、ACコード、状態出力ハーネス
		付属品（ATIR-CHG1/LK）	リンクケーブル、リンクプレート、リンクプレート用ねじ×4、状態出力ハーネス

混合分配器
ATIR-D640
希望小売価格 ¥104,500。(税抜 ¥95,000)

ケーブル長補正機能を搭載した6 in 4 outの赤外線混合分配器。
受光ユニットATIR-A510、ATIR-400を最大6台まで接続可能。
受信した赤外線信号を混合し、各レシーバーに分配。
複数台同時使用により、受光ユニットを最大36台まで増設し、カバーエリアを拡大可能。
配線ショートなどを検出する自動復帰型の安全回路を搭載し、トラブルを未然に回避。
設置の際に配線しやすい「ケーブル長補正機能」を搭載。



ケーブル長補正技術

TDR方式を応用した当社独自の測定方式（PAT.）によりケーブル長を測定し、ケーブル長差を補正します。

《設定方法》

- 1 受光ユニットと本製品を同軸ケーブルで接続
- 2 本製品の電源をON
- 3 SCAN/RESETを先の細いもので押す
- 4 STATUSインジケータが緑色点灯



周波数範囲	1～4MHz	最大出力電流	50mA（各入力端子）、最大200mA	電源	AC100V 50/60Hz ※電気定格およびモデル名は、本製品の底面に表示があります。
アンテナ入力	BNCコネクター×6	高周波通過損失	0dB±4dB	外形寸法	H44×W420×D225mm
アンテナ出力	BNCコネクター×4	消費電力	8W	質量	約2.34kg
アンテナ供給電圧	DC12V±1V	動作温度	5～45℃	付属品	電源ケーブル、3P-2P電源プラグ、ラックマウントアダプター（短）×2、ラックマウントアダプター用取付ネジ×6

バウンダリーマイクロホン
ATIR-T860
希望小売価格 ¥66,000。(税抜 ¥60,000)

Web会議に最適なワイヤレスバウンダリーマイク。
送信チャンネル（A～Jch）を簡単な操作で切り換え可能*。
高音質・高感度のコンデンサーマイクユニット搭載。
マイクロホンの指向性を簡単な操作で切り換え可能。



型式	バックエレクトレットコンデンサー型
指向特性	半球前方指向性/全指向性
赤外線波長	870±30nm
発信方式	PLLシンセサイザー方式
周波数特性	130～14,000Hz（UNI） 110～15,000Hz（OMNI）
変調方式	周波数変調
搬送波周波数	Ach（3.04MHz）、Bch（3.48MHz）、Cch（3.7MHz）、Dch（3.84MHz）、Ech（2.06MHz） Fch（2.48MHz）、Gch（2.7MHz）、Hch（2.82MHz）、Ich（2.56MHz）、Jch（3.20MHz）
送信チャンネル	1チャンネル
連続使用時間	<専用ニッケル水素電池使用時> 約8.5時間（ECOモード時）約7時間（LOモード時）約4.5時間（Hiモード時） <単3形アルカリ乾電池使用時> 約7時間（ECOモード時）約5.5時間（LOモード時）約3時間（Hiモード時）
外形寸法	H24×W120×D110mm
質量	約170g（専用ニッケル水素電池含む）
付属品	CHシール、ミニドライバ、専用ニッケル水素電池（RB3UTG）

充電器
BC702
希望小売価格 ¥22,000。(税抜 ¥20,000)

赤外線マイクロホンを約5.5時間でフル充電できる充電スタンド。
マイコン搭載で充電状態が一目でわかるインジケータ付き。
オプションのハーネスを利用することで、外部へ信号の送出が可能。マイクロホンの挿抜状態、充電状態のリモート監視が可能。



方式	急速充電
電源	DC12V、500mA ACアダプター AD-SL1205AO
充電出力	DC3.5V、400mA × 2
消費電力	6.5W（充電中）
充電式電池標準充電時間	約5.5時間（当社ニッケル水素充電電池HR15/101（1,900mAh）の場合）
外形寸法	H80×W151×D70mm
質量	370g
充電式電池使用温度範囲	放電（機器使用時）：-10～+40℃ 保存：-20～+40℃ 充電：+5～+40℃
付属品	ACアダプター AD-SL1205AO ■BC702用ハーネス（オプション）
全長	500mm
Pin数	5Pin

互換性

	充電器	トランスミッター		レシーバー	
	ATIR-CHG1	ATIR-T1001	ATIR-T1002	ATIR-R1040	ATIR-R1020
ATIR-T860	×	—	—	○	○
BC702	—	×	×	—	—

ヘッドウォーンマイクロホン（特注対応）
ATM75IR（特型）
オープン価格



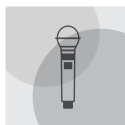
ヘッドウォーンマイクロホン（特注対応）
BP892xIR-BK（特型）
オープン価格



ヘッドウォーンマイクロホン（特注対応）
BP892xIR-TH（特型）
オープン価格



受光ユニットプランニング例



推奨プラン

システムの導入の際には、さまざまな部屋の広さや高さなど、シーンに応じた受光ユニットの設置プランが必要になります。
以下を参考にプランをご検討ください。
※プランは一例です。諸条件により受光ユニットの個数や配置は変わる場合があります。
詳しくは当社までご相談ください。



受光ユニット（単一指向性）
ATIR-A400



広域受光ユニット（無指向性）
ATIR-A510

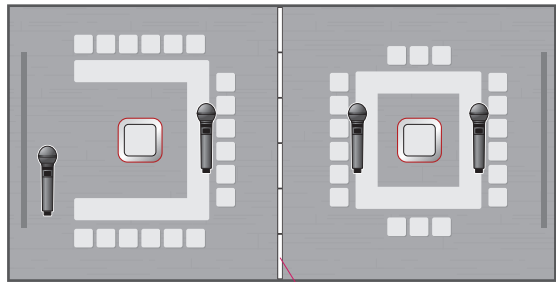
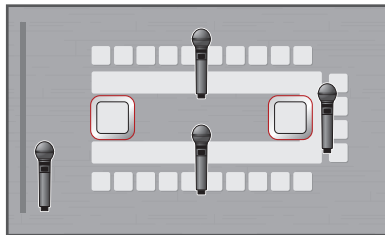
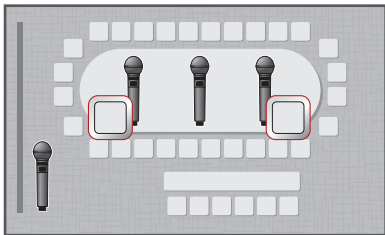


ハンドヘルドトランスミッター
ATIR-T1002



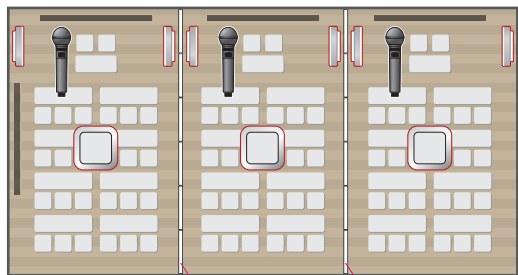
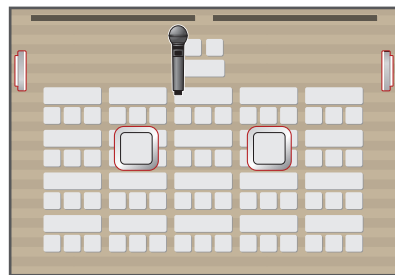
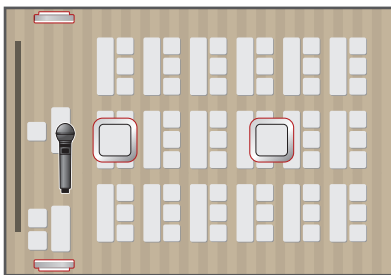
バウンダリーマイクロホン
ATIR-T860

口の字、コの字形式



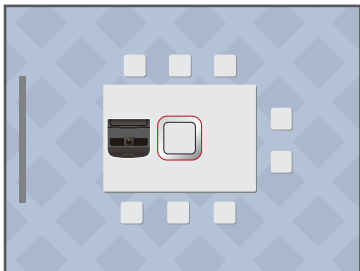
パーテーション

スクール形式

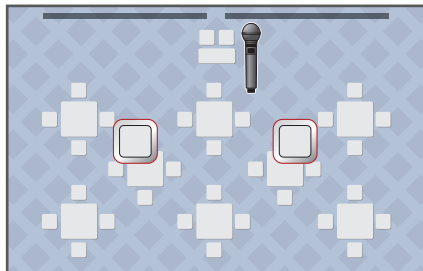


パーテーション

Web会議



フリーレイアウト





ご注意

- 受光ユニットを複数個接続される場合、接続する同軸ケーブルの長さはできるだけ同じにしてください。長さの差が大きいとノイズが増えることがあります（長さの差を5m未満になるよう調整ください）。※ATIR-D640との接続時を除く
- 同時通訳システムなど赤外線を使用した機器とは、同時使用できない場合があります。
- 赤外線の成分を多く含んだ、プラズマディスプレイ、照明（白熱球、ハロゲン電球）などをお使いの場合、ノイズの発生や音切れが出る場合もございます。
- デジタルアンプのスピーカー出力に影響を受ける場合があります。その場合機器配置や結線、アース処理などを確認ください。
- インバータ式照明器具からは0.5m以上離して設置してください。
- 高温になるパワーアンプやデジタルノイズを出す機器のそばに置かないでください。高温やデジタルノイズにより受信感度が悪くなる場合があります。

赤外線TIPS



赤外線マイクロホンは、発光部を覆ってしまうと赤外線が遮断され、音切れが発生します。

ATIR-T1002



発光部が上下2箇所ありますので、より安定した運用が可能です。

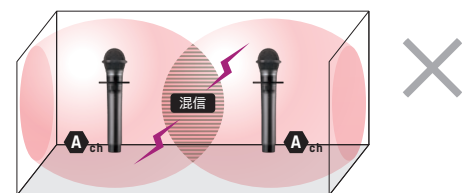
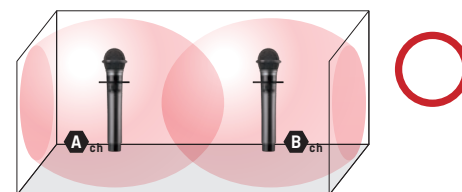
ATIR-T1001



マイクロホンの発光部をポケットなどに入れると、赤外線が遮断されますのでご注意ください。



同一空間で複数のマイクロホンを使用する場合は、チャンネルが重ならないように設定を行なう必要があります。
※同じチャンネル（周波数帯域）を受光すると混信します。

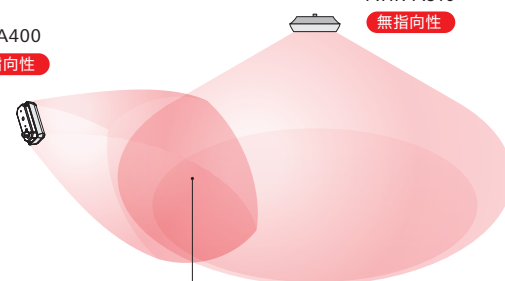


受光ユニットには、無指向性と単一指向性があります。
・無指向性：受光範囲が全方位になります。広範囲でマイクを使用する場合に適しています。
・単一指向性：受光範囲を絞り込んで使用する場合に適しています。

受光範囲のイメージ

ATIR-A400
単一指向性

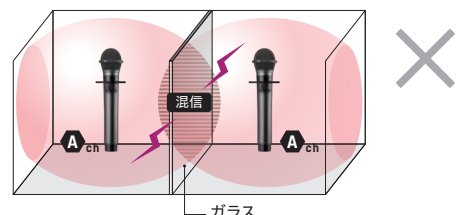
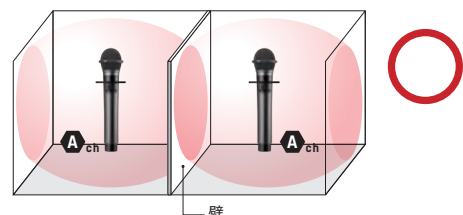
ATIR-A510
無指向性



2つの受光範囲が重なっている部分は、より安定した運用が可能なエリアです。



部屋を間仕切りする際は、ガラスなどは避け、光を通さない材質を選びます。壁（仕切り）があれば、同じチャンネルでも干渉しません。

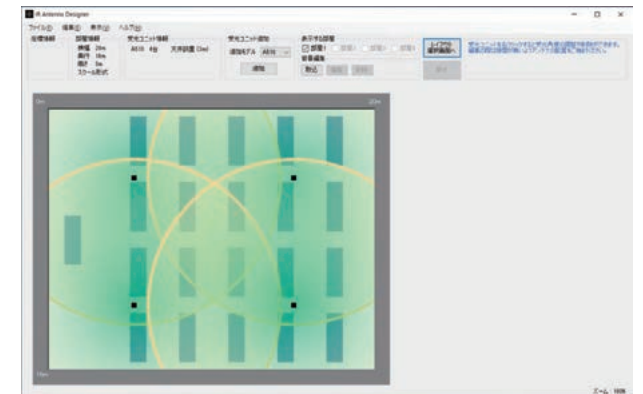
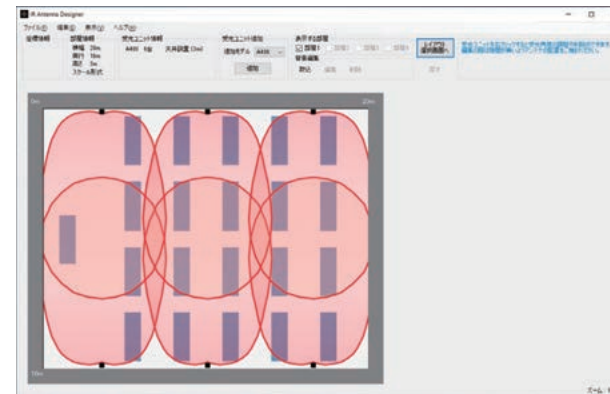


拡張性



IR Antenna Designer

受光ユニットデザインアプリケーション「IR Antenna Designer」を使えば、部屋の大きさ、高さ、分割の有無、レイアウトを入力するだけで最適な受光ユニットの設置位置と必要数を確認できます。

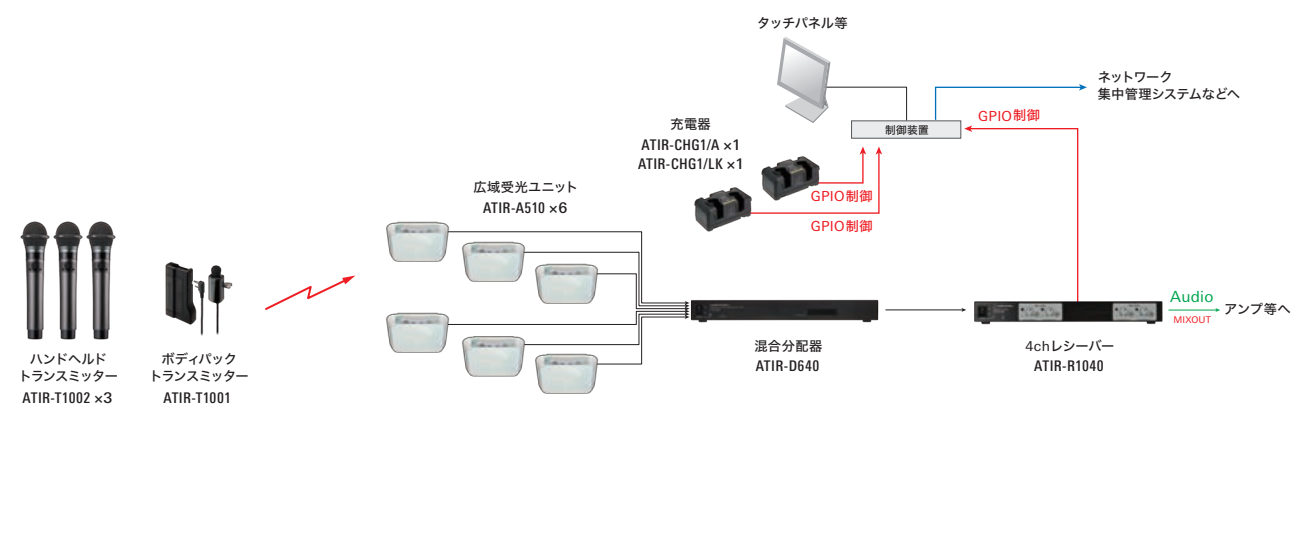


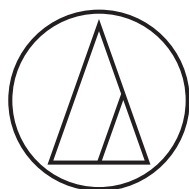
レーザーや充電器の情報出力のGPIO制御により、AMXやCrestronなどのタッチパネルインターフェースやシステムコントローラーにも対応しています。音響映像制御プログラムとの連携がスムーズに行えます。



設定情報出力のシステム系統図イメージ

制御装置に集積された充電レベルやマイクロホンの運用情報を一元表示できるほか、マイクロホンの運用開始・終了をトリガーとしてシステムの連携を行います。また、ネットワークを通じて集中管理システムなどへ情報を伝送すれば、建物全体で各部屋の情報を管理することができます。





audio-technica

Distributor

株式会社オーディオテクニカ プロオーディオ営業部 プロフェッショナルSS課

【東京】	〒113-8525	東京都文京区湯島1-8-3 テクニカハウス	Tel.03 (6801) 2010	Fax.03 (6801) 2019
【名古屋】	〒461-0004	愛知県名古屋市中区葵3-22-8 ニューザックビル 7F	Tel.052 (979) 4705	Fax.052 (979) 4733
【大阪】	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島4-13-17 テクニカハウス大阪	Tel.06 (6755) 9871	Fax.06 (6755) 9873
【福岡】	〒812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東3-12-1 アバント95ビル3F	Tel.092 (412) 6950	Fax.092 (233) 1337

☐ 製品の規格・仕様は改善等のため予告なく変更することがあります。 ☐ 製品の色は印刷により、実際の色とは違って見える場合があります。 ☐ 製品の価格には工事費、設置調整費、送料等は含まれておりません。 ☐ 付属品として記載されたもの以外は付属しておりません。
☐ このカタログの記載内容は2025年3月現在のものです。

www.audio-technica.co.jp/proaudio



安全に関するご注意

●ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご利用ください。
●水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。